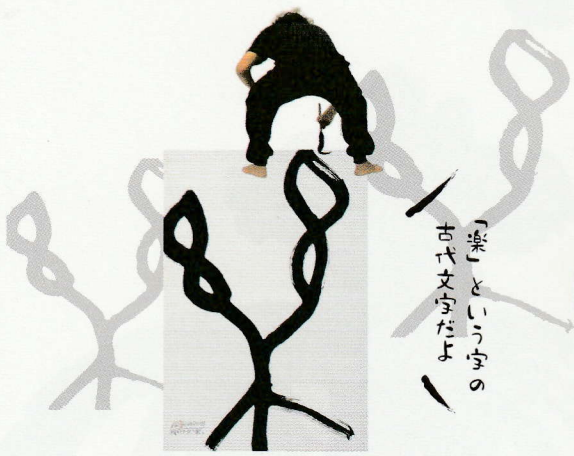
ヘタでもホンモノ
秀島踏波展

添田町出身で、現在関西を拠点に活動する書家・秀島踏波。時に力強く、時に繊細に、感性の赴くままに書き、今ここに生きている「実在感」を追い求める秀島の書をご紹介します。

本展のタイトル「ヘタでもホンモノ」には、自分の表現したいことを思い切り表現しようというメッセージが込められています。

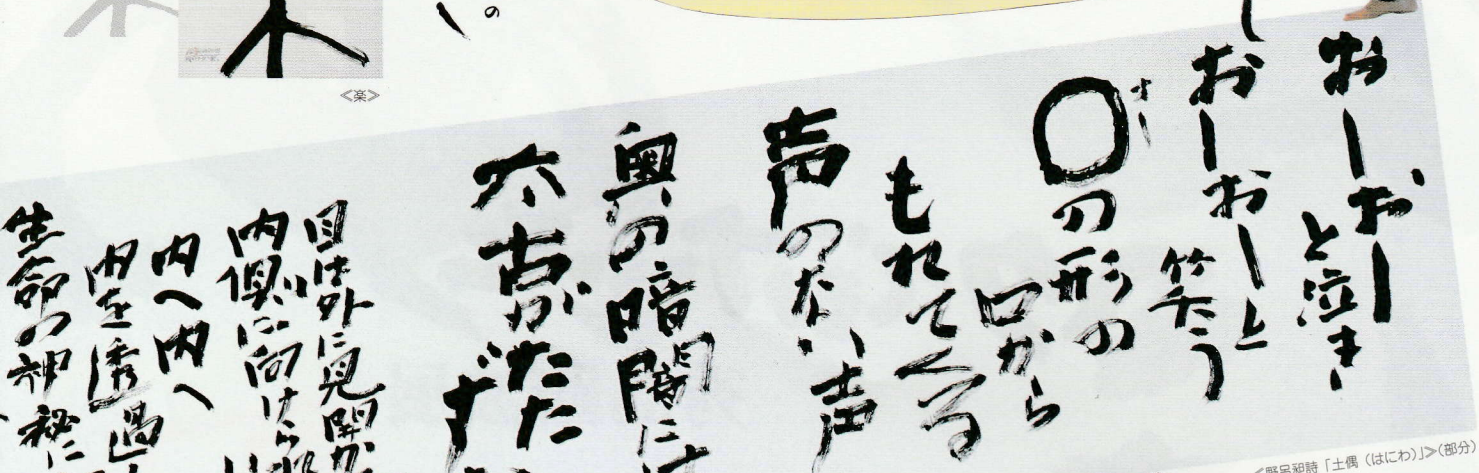
ヘンテコな文字の形を楽しむも良し、壁一面の詩文の書を味わうも良し、自分自身の目で自由に見て作品と対話してみてください。楽しみ方に正解はなく全部〝ホンモノ〟です。これまでに書の作品を鑑賞したことのない方でも、見て、感じて、書の魅力を発見してみませんか。

秀島と交流のある福岡の書家9名の作品も展示しています。この機会に、様々な表情を見せる書の世界に足を踏み入れてみましょう！



<楽>

秀島踏波（ひでしま とうは）。1941年福岡県田川郡添田町生まれ。1967年奈良教育大学学芸専攻科（書道）を修了。学生時代より日本書芸院展、毎日書道展、読売書法展等に出品し受賞多数。1972年第1回目となる個展を開催。この時に、洋画家・須田剋太と出会い励ましを受ける。1988年書壇から離れ、個展での発表を主な活動の場とする。2003年には初の本格的な回顧展「書の表現、その熱き心」（主催／福井県立美術館）を開催。現在も詩人や絵画・立体作家、音楽家などとの交流の中で、自身に於ける書の在りようを模索している。



<野呂昶詩「土偶（はにわ）」>（部分）

<凡>

友情出品

黒木了齋　高倉掃雲　橘魁州　棚田看山
古舘政次　堀神山　山口蝸牛　山下素庵　横田無縫

イベント

ギャラリートーク
秀島先生と書の世界を歩こう

秀島踏波先生と一緒に展覧会を鑑賞します。大人も子どもも、初めて書を鑑賞する人も書の面白さを発見しよう！

6月15日（土）11：00～

会　場：田川市美術館　展示室
参加費：無料

自分だけのハンコを作ろう

石に文字を刻む篆刻（てんこく）をやってみよう！ひらがな、カタカナ、好きな文字で小さなハンコを作ります。

6月16日（日）13：00～　＊2時間程度

会　場：田川市美術館　AVホール
対　象：大人（15歳以上）
参加費：300円
定　員：先着20名程度
講　師：秀島踏波

お電話にてお申し込みください。
0947-42-6161（田川市美術館）
申込期間：5月1日～31日

＊参加するには展覧会の半券が必要です。

学芸員によるギャラリートーク

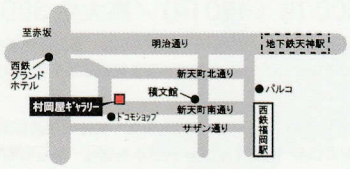
6月30日（日）11：00～
7月14日（日）11：00～

会　場：田川市美術館　展示室
参加費：無料

同時開催

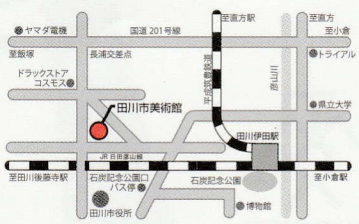
美術館での展示の他、下記の場所でも作品が見られます。
6月11日（火）～6月16日（日）11：00～18：00
＊最終日は17：00まで

新天町
村岡屋ギャラリー
福岡市中央区天神2-8-237
（新天町南通り）3F
TEL 092-711-1187



アクセス

田川市美術館　福岡県田川市新町11-56

天神・博多方面から
［バス］天神高速バスターミナル〈福岡県立大学行〉▶石炭記念公園口下車 徒歩約8分
［電車］博多駅〈福北ゆたか線〉▶新飯塚駅〈後藤寺線〉▶田川後藤寺駅下車 タクシー約8分

小倉方面から
［電車］小倉駅〈日田彦山線〉▶田川伊田駅下車 タクシー約6分